

令和3年6月18日

取手市議会議長

齋藤久代 殿

総務文教常任委員会

委員長 小堤 修

委員会中間報告書

本委員会の調査事件について、会議規則第45条の規定により、下記のとおり報告いたします。

記

- 1 調査事件名 令和2年度「議会を知り・未来を語る～取手二中3年生&取手市議会～」における中学生市議から提言された事項に関する当委員会所管事務
- 2 調査の経過 令和3年3月5日、令和3年3月17日、令和3年6月16日
- 3 意見 別紙のとおり

【総務文教常任委員会】令和2年度取手二中3年生との合同企画（課題・提案・考えられる効果等）

	中学生からの課題	中学生からの提案	提案が実施できた場合の考えられる変化や効果	調査報告及び検討事項
1	<ul style="list-style-type: none"> 魅力はあるのに、発信力がないため、人口減少が進んでしまっている 	<ul style="list-style-type: none"> 取手市の魅力をまとめたPR動画を作り直し、ユーチューブ、ツイッター、フェイスブック、ティックトック、インスタグラムなどに投稿する 	<ul style="list-style-type: none"> 動画を出し、多くの人が見て興味を持ってもらい定住につなげる 定住までいかななくても、商工業の発展につながる 	<ul style="list-style-type: none"> 現在公開されている市のPR動画は、再生回数69,286回（令和3年4月20日現在）であり、一定の効果や成果が挙げられていると思われます。この動画を作り直すのではなくそのまま活かしながら、新たな動画を作ることで取手市の魅力を発信していきます。 市のPR動画による魅力発信の有効性は強く認識しており、まず市外の方々を対象に動画で取手市を知ってもらい足を運んでもらうことが移住促進につながるものであり、新たな動画作成がその第一歩になると考えます。今年度は、観光スポットや魅力的な場所を重点とした3～5分の動画を職員自らの手で作成し、ホームページやユーチューブ、その他SNS等で配信していく計画です。 今年3月の市ホームページ変更に伴い、「とりでMOVIE」が見やすく分かりやすくなりました。ハード面が動画作成であるならばソフト面は見やすさと考え、「見やすい動画作成」と「発信力」の両輪で取手市への移住・定住を働き掛けていきます。